



ブラック 税理士事務所の 見分け方

はじめに



税理士のうち、開業する割合は80%と言われていますが、開業した税理士が失敗してしまう原因はほとんど同じです。

- ・ 営業がうまくいかない
- ・ 十分に市場調査ができていない
- ・ 顧問料の設定が適切でない
- ・ 人材を育てられない

そこで今回は、過去10年間で3000社以上の税理士事務所の代表と会い、年間2400名以上の転職者をサポートしてきた経験を基に、これらの落とし穴を克服し、開業後の充実したキャリアを築くための戦略について解説をします。

目次



- 税理士業界がブラック企業に見られがちな理由 ...4
- ブラック税理士事務所の 4 つの特徴 ...5
- ブラック税理士事務所を見分けるための方法 ...4
- 事前に必ず確認すべき 5 つのポイント ...9
- 入った後にブラック税理士事務所と気づいたら？ ...19
- ミツカルにできること ...20

税理士業界がブラック企業に見られがちな理由

高い離職率

税理士事務所の年間転職率は17%と、一般企業の平均14.3%と比較して非常に高いです。独立を目指す税理士が多いことやキャリアアップの道が不透明であることが大きな理由です。とくにキャリアステップが難しい環境を理由に転職や独立開業を選択する傾向があります。

繁忙期と閑散期の業務量の差

税理士事務所では、繁忙期と閑散期の間で業務量の差が激しいのが特徴です。繁忙期には長時間の労働が常態化し、従業員のストレスや疲労の蓄積につながります。一方、閑散期には業務が減少し、これが従業員のワークライフバランスに影響を及ぼすことがあります。

従弟制度的な体質の存在

税理士事務所の多くは、職員4～5人の小規模事務所になります。そのため、ワンマンな所長さんも多く存在しています。ワンマンな経営になるので、そのような事務所は発言内容に一貫性がなかったり、セクハラやパワハラが実際にあります。

こんな事務所はやめておけ！ブラック税理士事務所の4つの特徴



- ・ 売上の還元が不十分
- ・ サービス残業がある

研修などが時間外に行われる場合
サービス残業になっていないかチェック

① 低賃金

低賃金はブラック税理士事務所の一つの警告信号です。業務外時間に研修を強いられ、その時間が給与に反映されない事務所は特に注意が必要です。

従業員に対する売上の還元が不十分で、サービス残業が常態化している場合、これは従業員の労働に対する適正な評価がされていないと考えられます。

実際に、高いスキルを持つにも関わらず、相応の報酬が支払われていないケースは多く見られます。

こんな事務所はやめておけ！ブラック税理士事務所の4つの特徴

② 所長の人格に問題がある



- ・ 暴言・暴力が常態化
- ・ 自由に意見できない

税理士事務所は所長の人格が職場環境に大きく影響します。所長からの暴言や暴力が常態化し、意見を述べるできない環境は、精神的ストレスを抱える可能性があります

また、従業員が所長に対して自由に意見を言えない職場は、生産性の低下にもつながり、結果的に事業成長しにくい傾向にあります。

こんな事務所はやめておけ！ブラック税理士事務所の4つの特徴



◎事業拡大や退職者の補充
✕人手不足による採用

③頻繁に採用の活動が行われている

採用活動は通常、事業拡大や退職者の補充のために行われますが、頻繁な採用は高い離職率の兆候となり得ます。従業員が定着していない、つまり人手不足による採用は、職場の環境や条件に問題があることを示唆しています。

このような事務所は、組織体制が整備されていないことも多く、キャリアアップしにくい場合があります。

こんな事務所はやめておけ！ブラック税理士事務所の4つの特徴



- ・ 専門学校、大学院の
通学日に定時に帰れない
- ・ 試験休暇制度がない

④ 資格取得に対する配慮の有無

資格取得への支援の有無は、税理士事務所が従業員のキャリアアップをどれだけ支援しているかのバロメーターにもなります。

受験への配慮が無い主な理由は、人手不足により業務が回らないため、そもそも配慮する余裕がないことが挙げられます。

また「ライバルを増やしたくない」という理由から、所長が従業員のスキルアップを嫌う場合もあるようです。

ブラック税理士事務所を見分けるための方法

① 募集要項やWebサイトにはその事務所の考え方が反映される

募集要項やWebサイト、SNSは、税理士事務所の考え方や文化を反映します。とくに「成長が早い」「早く一人前に」といった言葉には、潜在的な落とし穴があります。

これらは、キャリア成長を急ぐ人には魅力的ですが、ワークライフバランスを重視する人にとっては、過度な残業が潜んでいる可能性があるため、職場環境の詳細に目を光らせる必要があります。



ブラック税理士事務所を見分けるための方法

②「みなし残業月○○時間」と給与欄に表示がある

みなし残業があるということは、その時間分は残業しても給料に反映されません。一見すると給与は高めに見えますが、実質的な基本給は他の税理士事務所より低い可能性もあるので注意しておきましょう。

みなし残業を設定している事務所は、長時間残業が常態化している可能性が高いです。マネジメント面に多くの課題を抱えている場合があり、そのような事務所で働くと心身ともに消耗してしまいます。



ブラック税理士事務所を見分けるための方法

③ 充実した研修制度をうたう

基本的に、研修は勤務時間外に行われます。「充実した研修制度」は、一見すると「未経験者を手厚くサポートしている事務所」のように見えますが、拘束時間が長く残業代もつかない可能性が高いです。

勤務時間内に研修を実施しているのかは、求人票や面接にて確認するようにしましょう。



ブラック税理士事務所を見分けるための方法

④「アットホームな事務所」というキャッチフレーズがある

所長が父親、副所長が息子というように、家族経営の税理士事務所も多くあります。

このような経営体制だと、他の従業員が気軽に意見を言えない場合もあるので注意が必要です。

理不尽なことがあっても我慢するしかない状況だと、多くのストレスを抱え込んでしまうでしょう。

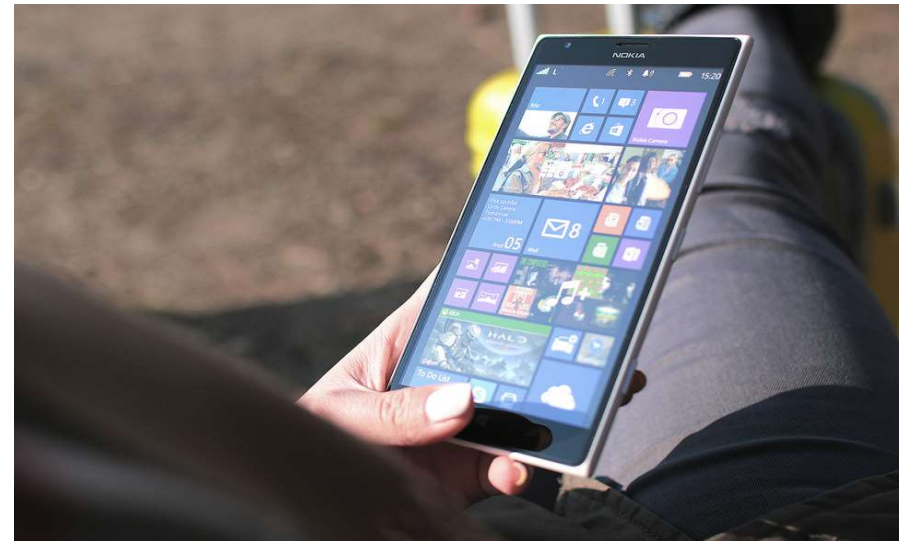


ブラック税理士事務所を見分けるための方法

⑤ SNS上での評判があまりにも悪い

SNSでの悪評は、そこに何らかの問題がある可能性を指摘しています。しかし、誰が書いたかわからないので鵜呑みにしてはいけません。

あまりにも悪い評判ばかりの事務所は、就職を避けるのが無難です。 良い評判も悪い評判も、フェアに見比べた上で、どこに就職するかを決めましょう。



事前に必ず確認すべき5つのポイント



人手不足が原因で
未経験者を採用



適切な研修・指導が
ない状態で業務を任される

①規模が10名以下の未経験採用は危険

10名以下の小規模事務所における未経験者の採用は、教育体制が整っていない危険信号です。

人手が足りていないために未経験者を採用するが、適切な研修や指導がないまま業務を任せられることが多く、これは従業員にとって過大なストレスになります。

結果として、先輩職員の退職を招き、業務負担がさらに増大する悪循環に陥ります。

事前に必ず確認すべき5つのポイント

② 求人情報の掲載頻度を確認する

求人情報の掲載頻度は、事務所の離職率を示唆する指標です。



1年以上継続して
求人を掲載



不満足な労働条件や
労働環境にある可能性が高い

1年以上継続して求人を出している事務所は、従業員の定着が悪いことを意味し、その理由は不満足な労働条件や労働環境にある可能性が高いです。

逆に、業務拡大などの正の理由で採用を行っている場合は、問題ないと考えられます。

事前に必ず確認すべき5つのポイント



平均年齢が
20～30代



創業メンバーや
中間管理職が不在

③従業員の平均年齢を確認する

10年以上経営している事務所で平均年齢が20～30代の場合、創業メンバーや中間管理職が不在の可能性があります。

これは、経験豊富な職員が抜け、新入職員に過剰な業務負担がかかることを意味し、結果として残業の増加や人材の流動性が高くなる懸念があります。

所属するスタッフの年齢が偏っているかどうかは、求人情報や面接などで必ず確認するようにしましょう。

事前に必ず確認すべき5つのポイント



東京の場合



最低年収は
450万円以上が望ましい

④ 年収を確認する

平均年収が一都三県で320万円以下の事務所は、業界標準に比べて給与が低い可能性があり、これは労働条件の良くない兆候です。東京であれば、最低年収は450万円以上が望ましいです。

エージェントや会社のホームページで年収情報を確認し、現在の年収や業界標準と比較して評価することが重要です。

また年収を確認する際は、各事務所を正しく比較検討するためにも、みなし残業代を除いて計算しましょう。

事前に必ず確認すべき5つのポイント



福利厚生为例

- ・ 税理士試験のための休暇
- ・ 専門学校への通学支援

⑤ 試験休暇の有無や福利厚生を確認する

試験休暇や専門学校への通学支援制度の有無など、福利厚生の内容は所長の方針がダイレクトに反映されます。

税理士試験合格を目指し、試験勉強をしながら働く場合は必ずチェックしましょう。

福利厚生は「従業員を大切にし、働きやすい環境を整えているか」を判断する上で、非常にわかりやすい指標です。

入った後にブラック税理士事務所と気づいたら？

どんなに念入りに情報を確認しても、実際に入ってみないとわからないこともあります。もし入社後にブラック税理士事務所と気づいた場合は、転職活動を再開することを検討しましょう。年収が高いことに重点を置くか、残業時間を重視するかなど、個々の価値観に基づいて決定することが重要です。

自分だけで判断できない場合は、転職エージェントのキャリアカウンセラーに相談するのも有効です。



ミツカルにできること



「今の会社はブラック企業かもしれない」
「もっと自分に合った会社はないだろうか」

本資料をお読みいただきそう感じられたのであれば
あなたが税理士として理想的なキャリアを実現するために
厳正なる審査を通過したあなたにぴったりの求人をミツカルがご紹介します！

税理士法人専門の転職プラットフォーム「ミツカル」

ミツカルで最適な職場を見つけて働き方と人生に選択肢を増やしませんか？



ワークライフ
バランスの取れた
生活がしたい方



今よりも
年収を上げたい方



もっとスキルを
高めてキャリア
アップしたい方

経験豊富なキャリアアドバイザーが、あなたの転職を親身にサポートします。



代表 城之内 楊

これまで、3,000以上の税理士事務所のコンサルティングや士業向けのセミナーに複数登壇。さらにはスタートアップから上場企業まで外部顧問や役員としても活躍する。退職後、税理士業界を活性化するために、税理士事務所の採用支援サービスを展開する株式会社ミツカルを創業。年間2,400名以上の税理士事務所の求職者をサポート。

税理士法人専門の転職プラットフォーム「ミツカル」



ミツカルが選ばれる5つの理由

1

マッチ率の高い事務所から
オファーが届く

2

厳しい審査を通過した
事務所のみが登録

3

業界最大手
地域最大手・特化型事務所
100社以上が登録

4

好条件求人が豊富で
選択肢も幅広い

5

今の職場にバレずに
転職活動ができる

税理士法人専門の転職プラットフォーム「ミツカル」



ご登録後すぐにあなたにマッチした求人をお届けします

税理士法人専門の転職プラットフォーム
「ミツカル」のご登録はこちらから

＼登録は簡単30秒／



ここをクリック

OR



QRコードからもアクセスできます

ミツカルを利用した実際の転職者の声

個人事務所から特化型事務所へ転職



転職期間

1ヵ月

業界経験

5年

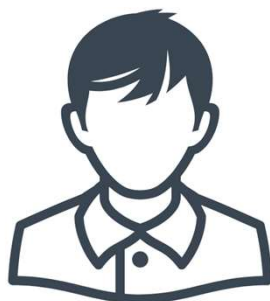
現在の収入

650万円

個人事務所で巡回担当として働いていましたが、訪問先の社長は零細や小規模ばかりでした。年収を上げるためには担当件数や規模感を増やす他なく、資料を期限通りに送ってすらこない企業を相手にしても将来性は無いなと感じていました。資産税にもともと興味がありチャレンジをしたいと思っていたのでミツカルに条件登録。都内の相続特化事務所からまさかのオファーがありました。担当した報酬に対してのインセンティブもよく転職してよかったと感じております。

ミツカルを利用した実際の転職者の声

5大都市から地元の大手事務所へ転職



転職期間

2ヵ月

業界経験

13年

現在の収入

700万円

大阪の中堅事務所でマネージャーとして働いてましたが、両親と子供の事を考え、地元に戻りました。正直年収は下がってますが、地方の生活水準では充分です。休日は家族と一緒に出かけ両親も孫に逢える頻度が増えて喜んでました、今の事務所は地方でも有名な事務所で地域で有名な企業も担当をさせていただいております。ミツカルは登録してすぐにオファーがあったので、登録期間が短くて担当の方もびっくりしてましたが、良いサービスだとは思います。

ミツカルを利用した実際の転職者の声

地方事務所から大手事務所へ転職



転職期間

2ヵ月

業界経験

9年

現在の収入

800万円

転職を決意したのは、将来のキャリアパスと待遇の不一致が理由でした。10年後の幹部ポストを見据えていましたが、幹部の待遇や内情を知るにつれ、責任は増える一方で給与がそれに見合っていないと感じたんです。そんな中、ミツカルさんと出会いました。最初に担当者とお話した時に、とても親切に話をしてくれて、その時点で今回の転職がうまくいくイメージを持つことができました！ミツカルのサービスは、これから転職を考える人にとって非常に価値のあるものだと思います。

ミツカルを利用した実際の転職者の声

地方事務所から大手事務所へ転職



転職期間

2カ月

業界経験

9年

現在の収入

780万円

今回ミツカルさんを利用して転職活動を行いました。カジュアル面談でお話した約8割の企業が私のイメージに合っていました。さらに、カジュアル面談は「うちの事務所に来てほしい」という前提のもと話が進むことが多く、通常の面接とは大きな違いを感じました。一時は進路に迷うこともありましたが、ミツカルのチームが他の企業を紹介してくれたので、私は常にポジティブな姿勢を維持することができました。最終的には、地方の中堅事務所から大手規模の事務所に転職し、新たなキャリアの道を歩み始めています。